

## 平成30年度 学校評価（自己評価）アンケート結果

### <平成30年度学校教育目標>

『兵庫が育む、こころ豊かで自立した人づくり』を基本理念とし、明るく充実した学校生活を送る中で、調和の取れた人間性を培い、創造性とチャレンジ精神を持って国際社会に貢献し、命と人権を大切にすることこころ豊かな人間を育成する。

### <重点目標>

魅力ある学校づくり、地域に信頼される学校づくりを実現するため、学校組織力の強化と教職員一人ひとりの資質能力の向上を図るとともに、指導方法や指導体制の工夫改善を行う。

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力等を活用する力の育成を図るとともに、生徒一人ひとりの能力・適性などに応じた学習指導を工夫することにより、主体的・創造的に生きる力を育む。
- 2 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員として自らを律しつつ、他人を思いやる心や豊かな人間性を育む。
- 3 学校の教育活動全体を通じて、規範意識や倫理観を高め、人権尊重の精神を育むとともに、主権者教育などを通して、将来社会の責任ある一員として活躍できる資質を培う。
- 4 自他の生命を尊重するとともに、健康管理ならびに安全管理に留意し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送ることができる資質・能力を育む。
- 5 特色ある教育課程を編成・展開し、生徒一人ひとりが自己をみつめ、自己を生かし、自己の進路を主体的に決定する能力を養い、自己実現に向けてチャレンジする心を育む。
- 6 ユネスコスクールの指定を活用し、持続可能な社会を実現するために、グローバル化する世界で積極的に活躍しようとする人間の育成を図る。

### 【自己評価の方法】

- A:できている・・・5点
- B:概ねできている・・・4点
- C:どちらかといえばできていない点が多い・・・2点
- D:全くできていない・・・1点

【総合評価の方法】 自己評価の平均により、次の基準に従ってA～E段階で評価している。

A：達成している（4.5 ≤ A < 5.0）

B：ほぼ達成している（4.0 ≤ B < 4.5）

C：少し工夫が必要（3.5 ≤ C < 4.0）

D：かなり工夫が必要（3.0 ≤ D < 3.5）

E：評価指標の設定そのものに問題あり（E < 3.0）

番号	評価の観点	評価項目	評価指標	A	B	C	D	総合評価	今年度の課題と次年度へ向けて	担当部署
1		一人ひとりの能力に応じたきめ細かな学習指導	授業だけでなく課題・補習・学習会などを利用して、成績不振者への補充、課題の提出、個別指導など、きめの細かい指導を行うことができている。また、選択科目等の開講講座の内容について見直しを行っている。	17	26	7	0	B (4.06)	(課題・次年度に向けて) 年次として適切な時期の個人面談を心掛けたが、2学期以降は時間の確保が難しかった。新学習指導要領実施に向けて、開講講座の整備に努めたい。3学期が特編授業となり時間的ゆとりができたため、きめ細かな面談指導ができた。年次としては、特編授業で担任の先生が年次行事で授業がつまり、負担が大きすぎた。もっと時間的な余裕を作り出し、生徒へのきめ細かい指導ができる体制を作る必要がある。 放課後、生徒との面談時間確保と、生徒に関わる時間を増やすため、会議の精選を考える。	ガイダンス部 各年次
2	進路指導	年次と進路指導部との連携	模試等の結果を年次担当者と共有し、日々の進路指導に生かすとともに、生徒の進路実現に向けた補習等が実施できている。模試などの資料が面談などの進路指導に役立つよう、適宜進路検討会を行っている。また、3年次向けに進路通信を発行し、大学進学に関する最新の情報提供を行うことができている。	21	27	2	0	B (4.1)	(課題・次年度に向けて) 模試結果と分析については適宜利用できているが、3年次向けの科目ごとの分野別正答状況についての共有ができなかった。また、3年次向けだけでなく、低年次における適切な時期に進路情報の提供を行うことが必要である。1.2年次の進路指導と講座選択が密接に連携できるよう、創意工夫が必要である。	進路指導部 ガイダンス部

3		キャリア教育の実施	近隣の国立大学から大学教授を招いて学問講演会を実施し、主体的な進路選択と望ましい職業観を育むことができている。また、1年次の総合的な学習の時間において、「北須磨未来塾」など、生徒一人ひとりの進路実現に向けたガイダンス指導を充実させている。	20	28	2	0	B (4.08)	(課題・次年度に向けて) 大学研究者から卒を広げて、専門領域で活躍されている方を招いての講演を実施した。今後もこのような観点での講師選定をする。 学問入門は1年次では教科横断的学習との関連があり、効果的であった。事前学習とのリンクが望ましい。1年次のガイダンス指導において、学部・学科研究等さらに深く進路・キャリアについて考えさせることができた。次年度にもつなげ、総合的な探究の時間につなげたい。	進路指導部 ガイダンス部
4		基本的生活習慣の確立といじめ防止方策の徹底	専任と年次の生徒指導担当との連携を密にし、指導内容の確認や統一性を図るとともに、全校集会・年次集会等で伝達、確認することで、挨拶の励行、端正な服装、余裕ある登校等基本的な生活習慣の定着ができている。いじめアンケートを学期毎に実施し、いじめの早期発見・早期対応に努めている。また、いじめ防止基本方針の見直しを行い、組織的にいじめの未然防止、早期解決が行えるように体制を整えている。	11	34	5	0	C (3.82)	(課題・次年度に向けて) 校務の多忙化で拡大生徒指導部会等なかなかもてず、連携面で不十分であった。2学期以降、登校時間(8:15)に間に合わない生徒が激増し、「時間を守る」意識の改善が必要である。いじめ案件については、アンケートだけに頼らず、教職員の「気づき」・「寄り添う」等、意識の向上が望まれる。 年次団とは、会議だけでなく日ごろから情報を共有し、気になる生徒には早期に対応していく。登校指導に関しては、次年度より全教職員に協力を依頼し、毎朝、校門周辺の立ち番を実施し、挨拶運動をしながら生徒の登校を見守っていききたい。	生徒指導部
5	生徒指導	生徒会を中心とした生徒の自主的活動の推進	生徒会執行部が中心となり、生徒が自主性をもって行事等の企画・運営できている。また、文化祭や体育大会等に生徒自身のアイデアを取り入れた新たな取り組みを行うことができている。	8	30	12	0	C (3.68)	(課題・次年度に向けて) 生徒会執行部が中心なり、学校行事の企画・運営をしてくれたが、新しい取り組みに関しては、職員側が連携してバックアップできなかった。 前例に捉われず、新たな取り組みの後押しが必要である。文化祭の規則集等に関しては、本校の現状に則した規則に改訂していく。	生徒指導部
6		美化清掃の徹底	通常清掃や大掃除への真摯な取り組みにより、校内の整理整頓が維持できているとともに、生徒一人ひとりの美化意識の高揚が図られている。	8	25	17	0	D (3.48)	(課題・次年度に向けて) 昨年の課題を踏まえ、具体的に清掃ポイントを提示し、清掃道具を整えたが、評価が下がったことについて原因を考えたい。 毎日の清掃においてより一層、美化意識を高めるように努める。	総務部

番号	評価の観点	評価項目	評価指標	A	B	C	D	総合評価	今年度の課題と次年度へ向けて（記述されていたもの抜粋）	担当部署
7	開かれた 学校づくり	家庭や地域 への 情報発信	授業公開やホームページのリアルタイムの更新をはじめ、年次通信、保健だより、中学校・塾等での説明会等を通じて、本校教育活動の情報を提供し、充実した広報活動を行うことができている。	12	30	8	0	C (3.9)	(課題・次年度に向けて) ホームページの作成においては、学校全体での取り組みが必要であり、その工夫を考えたい。また、中学校・塾訪問等ではごく一部の教員での実施となっており、そのことを知らない教員に知らせ、学校全体で取り組む雰囲気醸成するように働きかけたい。	ガイダンス部
8		近隣の 各種施設等 との交流と 自己有用感 の育成	地域での演奏会、近隣の福祉施設への訪問・手伝い、特別支援学校の行事への参加を通して、地域との交流を深め、思いやりの心を育てている。また、通学路清掃「ふるさとクリーンアップ作戦」により、公共心を養うとともに、地域との結びつきを強めている。東日本大震災等の募金活動にも積極的に取り組んでいる。	10	32	8	0	C (3.88)	(課題・次年度に向けて) 通学路清掃において、地域の方と清掃活動を行っているが、交流が深まるまで至っていないように思われる。 通学路清掃では、コース別に集合し、互いに挨拶を交わしてから、スタートさせるようにする。	総務部
9	家庭との 連携	携帯メール による 緊急連絡 システムの 効果的 な活用	ラインネットを有効に活用し、緊急時や重要事項の伝達が効果的に実施できている。	24	17	9	0	B (4.12)	(課題・次年度に向けて) インフルエンザ流行時の学級閉鎖の連絡なども伝達できればと感じる。各部署での連絡内容の精選が必要である。メールアドレスを把握する必要があり、それを提供してもらわなければ、提供してもらえない家庭向けに違う手段での伝達方法を考えなければいけない。 どのような連絡を、どの部署が担当するかを明確にする。	ガイダンス部 各年次

10		家庭と連携した教育活動の推進	保護者会、面談、電話等によるきめ細かな連絡を通じて、家庭と連携を図りながら教育活動に取り組むことができている。また、教育活動への理解促進を図るために、年次通信を定期的に発行するなど情報発信に努めている。	17	26	7	0	B (4.06)	(課題・次年度に向けて) デジタルサービスを利用した家庭との連携の可能性を探る。年次通信などのHPへのアップが滞っているため、そこは改善したい。 Classiの活用を研究する。HPをさらに活用する。	各年次
11		授業研究と指導力向上	授業公開や授業評価アンケート等を通して、指導方法等の工夫・改善を図っている。また、アクティブ・ラーニングに係る講演会や研究授業を実施し、新しい学力観に基づいた指導の在り方について研究・実践している。	11	31	8	0	C (3.9)	(課題・次年度に向けて) 日々の多忙さから、教材研究等に費やす時間が明らかに不足している。 限られた時間内で、研究授業・公開授業、授業評価アンケートを通して、指導方法等のさらなる工夫・改善を図る。	教務部
12	教職員の資質向上	生徒情報の共有と教育相談体制	年次との連携を密に、気になる生徒については面談を適宜行うとともに、カウンセラーによる面談を実施している。学校での生徒の様子と家庭での様子について、保護者と情報を共有し生徒把握に努めている。また、カウンセリングマインドに係る研修会を行い、教職員の指導力向上を図っている。	16	26	8	0	B (4.0)	(課題・次年度に向けて) 迅速な情報共有が、一部できなかったケースがあった。 担当部署との連携を、一層緊密にする体制が必要である。今年度も心の状態に問題があり、指導が困難な生徒については、カウンセラーの先生のアドバイスを参考にし指導した。その結果、良い結果に結びついたため、そのような方法を継続していく。	生徒指導部 各年次
13	学校の特色化	ユネスコスクールとしてのESDの推進	ユネスコスクールとして、福島県安達高校やJICA研修団など、交流の機会が充実している。また、年間計画に基づいて、国際理解教育や環境教育・エネルギー教育を中心に充実したESD教育を推進している。	12	32	5	1	C (3.84)	(課題・次年度に向けて) 国際理解について、興味を持って国際交流に参加してきた生徒はいたが、少数であった。その結果、高校生国際問題を考える日への参加希望者はいなかった。 ESD推進委員会についての理解を深めるように、集会等で説明する機会をつくる。	ESD推進委員会

## 平成30年度 学校評価アンケート結果

- 1 実施日 平成30年10月
- 2 回答者・回答率 生徒700名(97.7%)、保護者574名(79.7%)、職員38名(73.1%)
- 3 評価段階 4: と思う 3: どちらかといえば思う 2: あまりそう思わない 1: そう思わない
- 4 総合評価 A: 達成している(3.1 < A ≤ 4.0) B: ほぼ達成している(2.6 < B ≤ 3.1)  
C: 努力を要する(1.0 < C ≤ 2.6) (評価は4点満点)

質問内容・結果	平成30年度	総合(H30)	平成29年度	総合(H29)
<p><b>設問1: 明るく充実した学校生活を送っている</b> 単位は、%</p> <p>□④ と思う □③ どちらかといえば思う □② どちらかといえばそう思わない □① そう思わない</p> <p>生徒 A 3.29            教員 A 3.13            保護者 A 3.34  <b>TOTAL 3.25</b></p>	<p>生徒 A 3.22            教員 A 3.27            保護者 A 3.39  <b>TOTAL 3.29</b></p>	<b>A</b>		<b>A</b>
<p><b>設問2: 北須磨高校に入学して良かった</b> 単位は、%</p> <p>□④ と思う □③ どちらかといえば思う □② どちらかといえばそう思わない □① そう思わない</p> <p>生徒 B 2.99            教員 A 3.16            保護者 A 3.39  <b>TOTAL 3.18</b></p>	<p>生徒 B 3.07            教員 A 3.21            保護者 A 3.48  <b>TOTAL 3.26</b></p>	<b>A</b>		<b>A</b>
<p><b>設問3: 校内では気持ちの良い挨拶ができています</b> 単位は、%</p> <p>□④ と思う □③ どちらかといえば思う □② どちらかといえばそう思わない □① そう思わない</p> <p>生徒 B 2.98            教員 B 2.61            保護者 A 3.12  <b>TOTAL 2.9</b></p>	<p>生徒 B 2.73            教員 B 2.8            保護者 A 3.13  <b>TOTAL 2.95</b></p>	<b>B</b>		<b>B</b>
<p><b>設問4: わかりやすい授業をしている教員が多い</b> 単位は、%</p> <p>□④ と思う □③ どちらかといえば思う □② どちらかといえばそう思わない □① そう思わない</p> <p>生徒 B 2.66            教員 B 3.06            保護者 B 2.78  <b>TOTAL 2.83</b></p>	<p>生徒 B 2.73            教員 A 3.23            保護者 B 2.8  <b>TOTAL 2.92</b></p>	<b>B</b>		<b>B</b>
<p><b>設問5: 教科指導に熱心な教員が多い</b> 単位は、%</p> <p>□④ と思う □③ どちらかといえば思う □② どちらかといえばそう思わない □① そう思わない</p> <p>生徒 B 2.92            教員 A 3.28            保護者 B 2.91  <b>TOTAL 3.04</b></p>	<p>生徒 B 2.96            教員 A 3.37            保護者 B 2.96  <b>TOTAL 3.09</b></p>	<b>B</b>		<b>B</b>

<p><b>設問6: 知的好奇心を抱かせたり、学習意欲が高まる授業が多い</b></p> <p>□④そう思う □③どちらかといえばそう思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>7%</td> <td>40%</td> <td>44%</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>6%</td> <td>74%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>8%</td> <td>52%</td> <td>33%</td> <td>6%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	7%	40%	44%	9%	教師	6%	74%	20%	0%	保護者	8%	52%	33%	6%	生徒 C 2.45 教員 B 2.86 保護者 B 2.63 <b>TOTAL</b> <b>2.64</b>	<b>B</b>	生徒 C 2.48 教員 B 2.87 保護者 B 2.66 <b>TOTAL</b> <b>2.67</b>	<b>B</b>
対象	④	③	②	①																				
生徒	7%	40%	44%	9%																				
教師	6%	74%	20%	0%																				
保護者	8%	52%	33%	6%																				
<p><b>設問7: 課題の内容と量は学力をつける上で適切である</b> 単位は、%</p> <p>□④そう思う □③どちらかといえばそう思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>12%</td> <td>47%</td> <td>29%</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>14%</td> <td>54%</td> <td>27%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>20%</td> <td>57%</td> <td>20%</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	12%	47%	29%	12%	教師	14%	54%	27%	5%	保護者	20%	57%	20%	3%	生徒 C 2.59 教員 B 2.76 保護者 B 2.93 <b>TOTAL</b> <b>2.76</b>	<b>B</b>	生徒 B 2.61 教員 B 2.81 保護者 B 2.95 <b>TOTAL</b> <b>2.79</b>	<b>B</b>
対象	④	③	②	①																				
生徒	12%	47%	29%	12%																				
教師	14%	54%	27%	5%																				
保護者	20%	57%	20%	3%																				
<p><b>設問8: 課題をこなすことで学力がついていると感じる</b> 単位は、%</p> <p>□④そう思う □③どちらかといえばそう思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>10%</td> <td>43%</td> <td>35%</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>5%</td> <td>47%</td> <td>45%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>16%</td> <td>52%</td> <td>27%</td> <td>6%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	10%	43%	35%	12%	教師	5%	47%	45%	3%	保護者	16%	52%	27%	6%	生徒 C 2.50 教員 C 2.55 保護者 B 2.78 <b>TOTAL</b> <b>2.61</b>	<b>B</b>	生徒 C 2.54 教員 B 2.67 保護者 B 2.84 <b>TOTAL</b> <b>2.68</b>	<b>B</b>
対象	④	③	②	①																				
生徒	10%	43%	35%	12%																				
教師	5%	47%	45%	3%																				
保護者	16%	52%	27%	6%																				
<p><b>設問9: 自主的な学習に取り組みやすい学習環境が整えられている</b></p> <p>□④そう思う □③どちらかといえばそう思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>12%</td> <td>49%</td> <td>31%</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>8%</td> <td>42%</td> <td>42%</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>13%</td> <td>56%</td> <td>27%</td> <td>4%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	12%	49%	31%	8%	教師	8%	42%	42%	8%	保護者	13%	56%	27%	4%	生徒 B 2.64 教員 C 2.50 保護者 B 2.78 <b>TOTAL</b> <b>2.64</b>	<b>B</b>	生徒 B 2.72 教員 C 2.52 保護者 B 2.89 <b>TOTAL</b> <b>2.71</b>	<b>B</b>
対象	④	③	②	①																				
生徒	12%	49%	31%	8%																				
教師	8%	42%	42%	8%																				
保護者	13%	56%	27%	4%																				
<p><b>設問10: 自分の進路に応じた効果的な選択科目が準備されている</b></p> <p>□④そう思う □③どちらかといえばそう思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>30%</td> <td>53%</td> <td>13%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>26%</td> <td>53%</td> <td>16%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>26%</td> <td>61%</td> <td>11%</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	30%	53%	13%	4%	教師	26%	53%	16%	5%	保護者	26%	61%	11%	3%	生徒 B 3.09 教員 B 3.00 保護者 B 3.09 <b>TOTAL</b> <b>3.06</b>	<b>B</b>	生徒 A 3.11 教員 B 3.04 保護者 A 3.18 <b>TOTAL</b> <b>3.11</b>	<b>A</b>
対象	④	③	②	①																				
生徒	30%	53%	13%	4%																				
教師	26%	53%	16%	5%																				
保護者	26%	61%	11%	3%																				
<p><b>設問11: 1年次の選択科目ガイダンスを通じて進路意識が高まった</b></p> <p>□④そう思う □③どちらかといえばそう思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>28%</td> <td>44%</td> <td>21%</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>29%</td> <td>53%</td> <td>16%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>21%</td> <td>52%</td> <td>22%</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	28%	44%	21%	7%	教師	29%	53%	16%	3%	保護者	21%	52%	22%	5%	生徒 B 2.93 教員 B 3.08 保護者 B 2.90 <b>TOTAL</b> <b>2.97</b>	<b>B</b>	生徒 B 2.89 教員 A 3.12 保護者 B 2.95 <b>TOTAL</b> <b>2.99</b>	<b>B</b>
対象	④	③	②	①																				
生徒	28%	44%	21%	7%																				
教師	29%	53%	16%	3%																				
保護者	21%	52%	22%	5%																				

<p><b>設問12:生徒と教員は普段から十分なコミュニケーションがとれている</b></p> <p><input type="checkbox"/>④そう思う <input type="checkbox"/>③どちらかといえばそう思う <input type="checkbox"/>②どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/>①そう思わない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>16%</td> <td>48%</td> <td>30%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>8%</td> <td>47%</td> <td>45%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>20%</td> <td>57%</td> <td>19%</td> <td>4%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	16%	48%	30%	5%	教師	8%	47%	45%	0%	保護者	20%	57%	19%	4%	生徒 B 2.75 教員 B 2.63 保護者 B 2.94 <b>TOTAL</b> <b>2.77</b>	<b>B</b>	生徒 B 2.71 教員 B 2.77 保護者 B 2.99 <b>TOTAL</b> <b>2.82</b>	<b>B</b>
対象	④	③	②	①																				
生徒	16%	48%	30%	5%																				
教師	8%	47%	45%	0%																				
保護者	20%	57%	19%	4%																				
<p><b>設問13:困ったときに相談できる教員がいる</b></p> <p>単位は、%</p> <p><input type="checkbox"/>④そう思う <input type="checkbox"/>③どちらかといえばそう思う <input type="checkbox"/>②どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/>①そう思わない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>12%</td> <td>34%</td> <td>34%</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>21%</td> <td>63%</td> <td>13%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>10%</td> <td>49%</td> <td>32%</td> <td>9%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	12%	34%	34%	19%	教師	21%	63%	13%	3%	保護者	10%	49%	32%	9%	生徒 C 2.39 教員 B 3.03 保護者 C 2.60 <b>TOTAL</b> <b>2.67</b>	<b>B</b>	生徒 C 2.33 教員 B 2.85 保護者 B 2.66 <b>TOTAL</b> <b>2.61</b>	<b>B</b>
対象	④	③	②	①																				
生徒	12%	34%	34%	19%																				
教師	21%	63%	13%	3%																				
保護者	10%	49%	32%	9%																				
<p><b>設問14:学校行事等は、生徒の自主性が高められるように工夫されている</b></p> <p><input type="checkbox"/>④そう思う <input type="checkbox"/>③どちらかといえばそう思う <input type="checkbox"/>②どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/>①そう思わない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>19%</td> <td>49%</td> <td>24%</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>11%</td> <td>50%</td> <td>37%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>20%</td> <td>62%</td> <td>16%</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	19%	49%	24%	7%	教師	11%	50%	37%	3%	保護者	20%	62%	16%	3%	生徒 B 2.81 教員 B 2.68 保護者 B 2.98 <b>TOTAL</b> <b>2.82</b>	<b>B</b>	生徒 B 2.76 教員 C 2.54 保護者 B 3.01 <b>TOTAL</b> <b>2.77</b>	<b>B</b>
対象	④	③	②	①																				
生徒	19%	49%	24%	7%																				
教師	11%	50%	37%	3%																				
保護者	20%	62%	16%	3%																				
<p><b>設問15:部活動の指導内容や活動時間は適切である</b></p> <p>単位は、%</p> <p><input type="checkbox"/>④そう思う <input type="checkbox"/>③どちらかといえばそう思う <input type="checkbox"/>②どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/>①そう思わない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>22%</td> <td>50%</td> <td>18%</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>11%</td> <td>45%</td> <td>39%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>21%</td> <td>51%</td> <td>19%</td> <td>9%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	22%	50%	18%	10%	教師	11%	45%	39%	5%	保護者	21%	51%	19%	9%	生徒 B 2.85 教員 B 2.61 保護者 B 2.83 <b>TOTAL</b> <b>2.76</b>	<b>B</b>	生徒 B 3 教員 B 2.79 保護者 B 2.95 <b>TOTAL</b> <b>2.91</b>	<b>B</b>
対象	④	③	②	①																				
生徒	22%	50%	18%	10%																				
教師	11%	45%	39%	5%																				
保護者	21%	51%	19%	9%																				
<p><b>設問16:年次通信・HPなどを通して適切な情報発信を行っている</b></p> <p><input type="checkbox"/>④そう思う <input type="checkbox"/>③どちらかといえばそう思う <input type="checkbox"/>②どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/>①そう思わない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>30%</td> <td>54%</td> <td>12%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>37%</td> <td>53%</td> <td>11%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>27%</td> <td>59%</td> <td>11%</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	30%	54%	12%	4%	教師	37%	53%	11%	0%	保護者	27%	59%	11%	3%	生徒 A 3.11 教員 A 3.26 保護者 A 3.11 <b>TOTAL</b> <b>3.16</b>	<b>A</b>	生徒 B 3.03 教員 A 3.15 保護者 B 3.02 <b>TOTAL</b> <b>3.07</b>	<b>B</b>
対象	④	③	②	①																				
生徒	30%	54%	12%	4%																				
教師	37%	53%	11%	0%																				
保護者	27%	59%	11%	3%																				